

## 宮崎科学技術館におけるパソコン講座のあり方とモラル研修報告

宮崎科学技術館  
学芸課 主任主事 藤原 由子

**研究成果の概要：**より満足度の高いパソコン講座を提供できる。パソコン講座を行う意義も明確になり、利用者増、リピーター増が期待できる。また、モラル研修が市民と交流できる場となり、地域活性化への貢献が期待できる。

### 1. 研究の背景

#### (1) パソコン講座のあり方

当館では、これまで様々なパソコン講座を開催してきた。時代の変化に伴い、パソコン講座の内容・種類などを工夫してきたが、今後のさらなる発展のために何が必要かじっくり検討したいと考えていた。平成24年度に、研究に取り組む機会があったが、具体的な答えを見出すには至らなかったため、より発展させて深いところまで探りたいと考えた。

#### (2) モラル研修

平成25年度に新たな取組として「モラル研修」を実施した。当館でパソコン講座を実施する意義の1つに、一般市民と専門家の架け橋となることがあげられるのではないかと。交流の場としてモラル研修に期待できるのではないかと。

### 2. 研究目的

#### (1) パソコン講座のあり方

今まで実施してきたパソコン講座を見直し、今後どのような内容を取り入れていけばよいか検討する。また、より多くの市民に継続してパソコン講座を受講してもらうにはどうしたらよいか検討する。

#### (2) モラル研修

新たな取組として実施する「モラル研修」を今後活かすため、実施する目的を強く認識する。

(1)と(2)から、最終的に当館でパソコン講座を実施する意義を見出す。

### 3. 研究の方法

#### (1) パソコン講座の現状

現在の状況をまとめて、問題点を明確にする。

#### (2) パソコン講座でのアンケート調査

講座終了時にアンケートを実施し、受講した感想と今後の要望を調査する。

#### (3) モラル研修

実施計画を立てるところから、講師の依頼、参加者の募集、準備、会場設営、実際の運営、アンケート調査を行う。次に生かせるものがないか探る。

### 4. 研究成果

#### (1) パソコン講座の現状

応募対象者は、宮崎市、国富町、綾町在住

の20歳以上の方。定員は1回16名、受講料は1日あたり100円負担、テキスト代は実費負担。講座の種類は、基礎レベルと応用レベルがあり、講座期間は7日間のもの、1～4日間のものがある。(表1参照)

(表1)平成25年度パソコン講座一覧

	7日間の講座	1～4日間の講座
基礎	パソコン入門 ワード エクセル	続パソコン入門 続ワード 続エクセル はがき作成 デジカメ パワーポイント インターネット・メール
応用	ワード応用 エクセル応用	

※続パソコン入門講座…24年度なし

※パワーポイント講座…24年度なし

※インターネット・メール講座…24年度なし

次に、初心者が最初に受講する基礎講座3つに絞って、平成24～25年度のパソコン講座応募者数をまとめた。

(表2)平成24年度応募者数

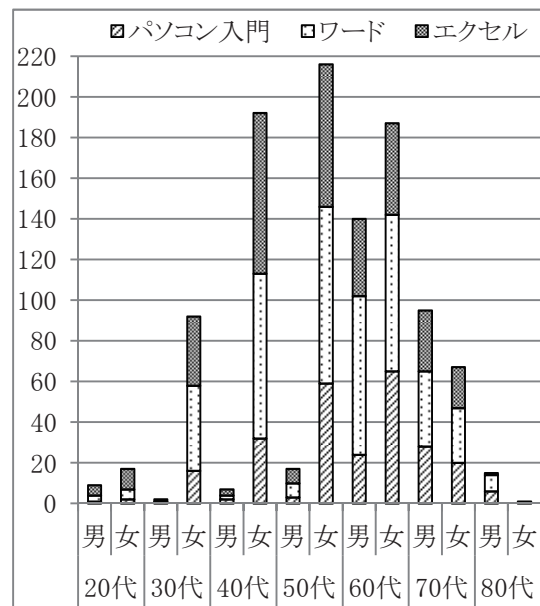
回	1	2	3	4	5	6	7	計
パソコン入門	49	23	22	16	16	29		155
ワード基礎	62	53	39	27	28	21	40	270
エクセル基礎	69	39	29	23	29	31		220

(表3)平成25年度応募者数

回	1	2	3	4	5	計
パソコン入門	22	23	20	18	20	103
ワード基礎	32	45	35	44	35	191
エクセル基礎	30	21	17	21	31	120

数字だけ見ると、少しずつ応募者数が減っているように感じるが、1回の定員は16名なので、毎回抽選で受講者を決定している。

(グラフ1)平成24～25年度応募者内訳



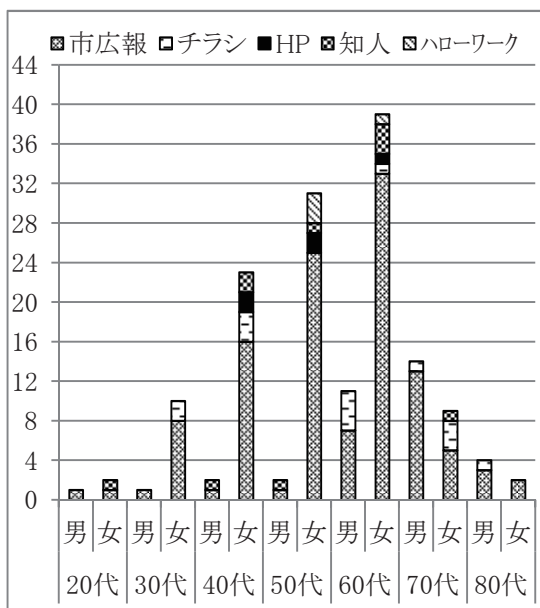
- ・毎回、抽選で受講者を決定している
- ・主婦層とシニア層の応募が多い
- ・パソコン入門講座の応募が一番少ない

(2) パソコン講座でのアンケート調査

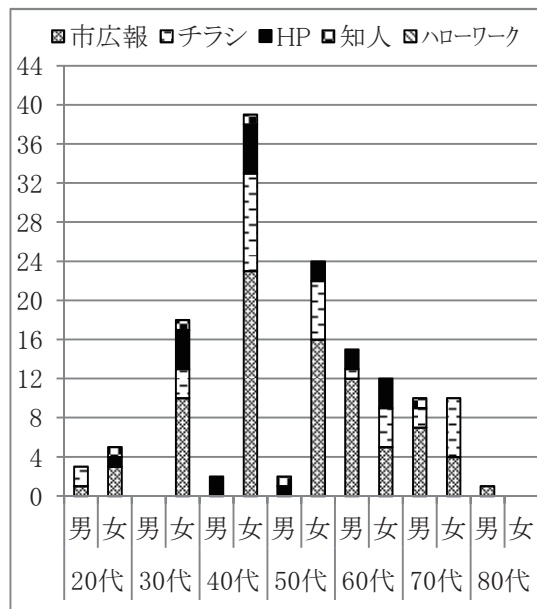
各パソコン講座最終日、受講生にアンケート記入をお願いした。

- 問1. パソコン講座を何で知りましたか？
- 問2. あなたの性別と年代を教えてください。

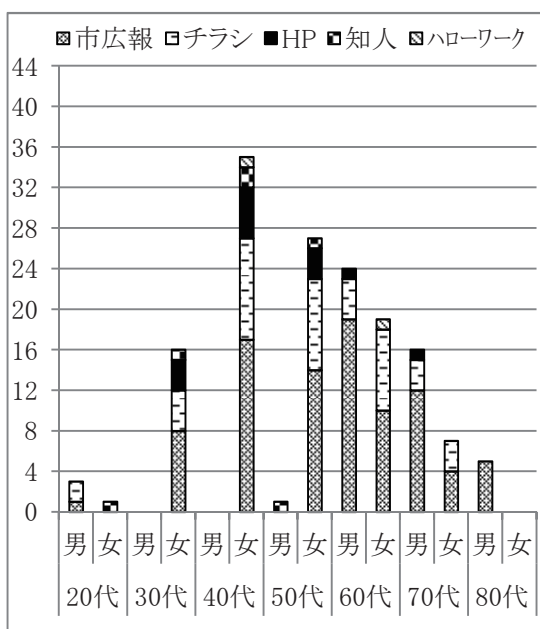
(グラフ2)パソコン入門講座受講者



(グラフ4)エクセル講座受講者



(グラフ3)ワード講座受講者



★3つのグラフから分かること

- ・宮崎市広報を見て応募した人が多い
- ・女性の応募が多い
- ・20～50代男性の応募はほとんどない

問3. 講座を終えた主な感想・意見・要望

(感想)

- ・親切に教えてもらった、丁寧だった
- ・要点をおさえて復習してくれた
- ・受講料が安くありがたい

(意見)

- ・高齢者には進み具合が早いのでは？
- ・若い人には進み具合が遅いのでは？
- ・なかなか覚えられなかった

(要望)

- ・夕方からの講座があるとありがたい
- ・もう少し長い期間の講座があるとよい
- ・抽選結果をもっと早く教えてほしい

★補足

受講生は概ね満足しているが、1回限りの受講では覚えきれないという意見や、復習のた

めに再受講したいという意見もある。まだまだ応募者が多いため、再受講はお断りしている。

#### 問4. 今後受講してみたいパソコン講座

※当館で実施していない講座のみ

- ・写真やビデオ編集
- ・生活に役立つものを作る(名刺やシール)
- ・ブログやツイッター、ホームページなど
- ・資格試験や仕事で使うテクニック
- ・Windows8の講座

#### ★補足

「友の会パソコン講座」を、隔週日曜午前に年間24回実施しているのので、そこで“お楽しみ”として新講座を取り入れてみたい。

### (3) モラル研修

#### ①講師の選定

インターネットで検索し、社会貢献事業として教室を実施している団体(無料)に決定した。

(表4)モラル研修の日程と講師・テーマ

日程	(上) 講師	(下) テーマ
11/29 午後	マルチメディア振興センター	インターネット安心安全な使い方
12/ 6 午後	宮崎市教育情報研修センター	ネット時代の大人の責任
12/13 午前	NTTドコモケータイ安全教室	シニア編 (講義型)
12/13 午後	NTTドコモケータイ安全教室	保護者編
1/23 午前	NTTドコモケータイ安全教室	保護者編
1/23 午後	NTTドコモケータイ安全教室	シニア編 (講義型)
2/ 6	NTTドコモケータイ安全教室	

午後	シニア編 (操作型)
----	------------

#### ②会場について

パソコン講座の新企画であり、特にパソコン講座受講生に参加してもらいたいという思いから、パソコン室で実施することにした。事前に担当者と電話で打ち合わせをして、必要な道具などを準備し、会場設営した。

#### ③受講生の募集

往復ハガキによる先着順とした。定員24名に対し、各回10名前後の応募があった。ただし、研修を兼ねて協会職員が参加した回もあり、最低開催人数を集めるのに苦労した。そこで、2月の回の内容を「スマートフォン体験」に変更したら、関心を示す方が多く応募が増えた。

(表5)参加者数

日程		一般	協会職員
11/29	午後	12	4※
12/ 6	午後	7	1
12/13	午前	12	0
〃	午後	4	9
1/23	午前	10	0
〃	午後	9	1
2/ 6	午後	19	0
合計		73	15

※11/29は職場体験の中学生2名含む

#### ④アンケート

全参加者88名中87名から回答を得た。

#### 問1. 研修の内容について

(表上段)参考になった-----84

(表下段)よく分からなかった----3

2時間やってほしい

(表6) 問1の内訳

問 1	マルチ メディア	教育 情報	NTTドコモ		
			保	シ	操
84	14	8	22	2	18
3	2	0	1	0	0

★長かったと答えた方の回答

30分くらいがよかった

問1. 参考になったと答えた方の特に参考になった内容は？

- 災害時の活用法----- 11
- スマートフォンの操作について----- 9
- インターネットやメールのトラブル--- 8
- 詐欺(ワンクリックや架空請求)----- 7
- メール送信にかかる料金----- 6
- フィルタリング----- 5
- GPS情報について----- 4
- スマートフォンのアプリについて----- 2
- その他
  - ・暗証番号の管理方法
  - ・安易に同意をクリックしない など

問2. 研修の時間について

- (表7上段)ちょうどよい--80
- (表7中段)短かった-----6
- (表7下段)長かった-----1

(表7) 問2の内訳

問 2	マルチ メディア	教育 情報	NTTドコモ		
			保	シ	操
80	15	7	22	18	18
6	0	1	1	4	0
1	1	0	0	0	0

★短かったと答えた方の回答

1時間30分くらいがよかった

問3. 何で知りましたか？

- ①当館で配布されたチラシ
- ②案内メールが届いた
- ③ホームページを見て
- ④その他 内訳⑤友人・知人の紹介
- ⑥協会職員
- ⑦職場体験中学生

(表8) 問3の内訳

問 3	マルチ メディア	教育 情報	ド	ド	ド
			保	シ	操
①60	13	7	9	17	14
② 9	1	0	2	3	3
③ 4	0	1	0	2	1
④14	2	0	12	0	0
⑤ 3	0	0	3	0	0
⑥ 9	0	0	9	0	0
⑦ 2	2	0	0	0	0

★以前、パソコン講座にメールで応募したことのある方に「案内メール」を送信した。98名中9名の方が参加してくれた。

問4. 次回はどのような話を聞きたいですか？

- 何でも、もっと詳しく----- 4
- ウイルスに感染した時の対処法--- 3
- アプリについて(ラインなど)----- 2
- スマートフォンについて----- 2
- インターネットに焦点をあてた話- 1
- 振り込め詐欺----- 1

ネットショッピングについて ----- 1

インターネット犯罪の手口 ----- 1

インターネットの変化のすごさ --- 1

#### 《まとめ》

- ・どの回も概ね好評だった。
- ・スマートフォン体験は特に好評だった。
- ・続編を聞きたいという参加者が数名いた。
- ・参加者にとっては、60分間がちょうどよいということだったが、講師は「もう少し時間があれば、もっと具体的な話ができるのに」と言っていた。

#### (4) 考察と今後の展望

宮崎科学技術館のパソコン講座は、開館当初から開催されているもので、市民の皆様にとって、比較的 low 料金で気軽にパソコンを教えてもらえる場所として定着している。現代、パソコンが欠かせなくなりつつあるが、まだパソコンを操作したことがない方もいる。当館が初心者でも気軽にパソコンに触れることのできる場所を提供することで、市民サービスという意味で当館のパソコン講座の意義があるのではないだろうか。

またモラル研修は、色々な話を聞きたいという市民の学習意欲に応えることができ、また専門家の話を気軽に聞く機会を提供することも可能である。市民が当館に足を運ぶ機会を増やすことで、地域活性化へつながり、公益財団法人としての役割の1つを果たすことのできる可能性を秘めているといえる。